



第62回 総代会 NEWS

新型コロナウイルス感染症対策の徹底と、皆様のご協力のもと、令和4年5月15日（日）令和4年度第62回通常総代会が開催されました。西崎会長の開会挨拶の後、議事に移り、議長に浜田正宏氏が選出され、全議案が原案通り承認可決されました。

今年度は、家藤伸生氏の役員退任に伴い、大内勝利氏が新理事として選任されました。

議案（詳細は総代会資料をご確認下さい）

- ①令和3年度収支補正予算書（案）決定の件
- ②令和3年度事業報告及び収支決算関係書承認の件
- ③令和4年度事業計画（案）及び収支予算書（案）決定の件
- ④令和4年度一般会計の借入限度額並びに同金融機関の指定の件
- ⑤運営規約の一部改正の件
- ⑥欠員による役員を選任の件



（西崎会長 挨拶）

来賓紹介

宇和島市長	岡原 文彰様
南予地方局長地域産業振興部長	大崎 陳洋様
衆議院議員	長谷川 淳二様
愛媛県議会議員	赤松 泰伸様
日本政策公庫 宇和島支店長	石井 達也様
愛媛県火災共済協同組合 業務部長	高橋 司学様



（総代会会場）

商工会の2つの共済
ご加入のおすすめ

商工貯蓄共済

貯蓄
増える楽しみ

融資
しっかり支える

1つの
掛金で
3つの
メリット

保証
いつでも安心

+医療特約
でさらに
保証充実

福祉共済

ニーズに合わせてプランを選べる
13万人以上の皆様のご加入中

「病
気」
の
補
償

「け
が」
の
補
償

「生
命」
の
補
償

「が
ん」
の
補
償

ト
ー
タ
ル

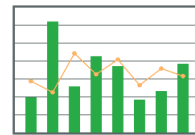
「が
ん」
の
補
償

シ
ン
プ
ル

愛媛県の経済動向について

(出典：IRCMonthly調査月報5月号より

いよぎん地域経済研究センター)



緩やかに持ち直しているが、原材料価格の高騰に伴う企業の採算悪化が懸念される。

全国：持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナによる厳しい状況が残るなかで一部に弱さがみられる。生産や設備投資は持ち直しているが、個人消費は持ち直しに足踏みがみられる。企業収益は、感染の影響で非製造業の一部に弱さがみられる。国内企業物価は上昇している。ロシアによるウクライナ軍事侵攻が原油や原材料の高騰に拍車をかけた。

愛媛県：緩やかに持ち直しているが、新型コロナの影響から一部弱い動きとなっている。先行きについては、原材料価格の上昇や供給面の制約の影響が、県内企業にも波及する懸念がある。4月から新型コロナ警戒レベルが感染警戒期に下がり、県内経済は持ち直しの動きが続くものの、原材料や原油の高騰が企業活動や個人消費に水を差す可能性があり、持ち直しの勢いは力強さにかけてのものとなるだろう。

【雇用】2月の有効求人倍率(季節調整値)は2カ月連続で低下した。一方、原数値は1.44倍(前年同月差+0.11p)と上昇した。地域別有効求人倍率は東中南予(南予は1.63倍)全ての地域で前年を上回った。

【物価】2月の松山市の消費者物価指数は、総合指数が100.4と前年同月比0.5%上昇した。生鮮食品を除く指数も100.1と0.3%上昇し、23ヶ月ぶりに前年を上回った。

【消費】2月の百貨店・スーパーの販売額は、前年同月比0.9%減と、5カ月ぶりに前年を下回った。うち百貨店の販売額は、新型コロナ第6波の影響で客足が低迷し、同6.3%減となった。

【観光】2月の県内主要観光施設入込み客数は、全体で前年同月比11.1%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。うち、東予は前年同月比14.4%減、中予は同1.7%減、南予は同15%減となった。オミクロン株の急激な感染拡大による外出控えや一部施設での臨時休業が影響している。

【職員異動のお知らせ】

転入	転出
森田 竜作(中島商工会より)	梶原 裕史(愛南町商工会へ)



この4月から、中島商工会より異動して参りました。商工会職員としては3年目、経営指導員としては1年目ですので、まだまだ分からないことがたくさんあります。会員の皆様にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、少しでも早く仕事を覚えて、お役に立てるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

経営指導員 森田 竜作